

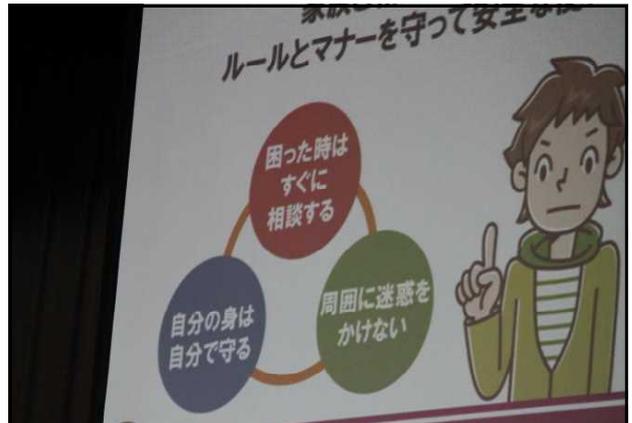
秋田県教育委員会の資料から紹介します

大人として、子どもに伝えたいメッセージ

子どもを被害者・加害者にしないために

先週、秋田市の中学校に対する脅迫動画がインターネットに投稿されたことが大きく報道されました。また、愛知県では、名古屋駅などに殺人予告をした中学3年生女子の自宅が捜査されています。今後もケータイやインターネット等のトラブルが、全国的に増えていくと思います。

本校では、29日(水)にケータイ安全教室を開催しましたが、最終的には、大人の責任として子どもを守り支えていくことが求められています。今一度、ご家庭で利用等の約束について話し合い、健全な生活を送れるようによろしくお願ひします。



ケータイ教室のまとめから

1. ネットは世界中に開いている → 不特定多数の人が見て、情報(画像)は簡単にコピーされます。
2. ネットは個人が特定できる → 事件性のある書き込みなどは警察等によって個人が特定され責任を問われます。
3. ネットは現実社会と同じ → ほんの出来心が犯罪やトラブルに、他人を思いやる心や自制心が大切です。

ようこそ先輩

先週29日(水)放課後、本校卒業生で、現在秋田ノーザンハピネットのシューティングガードとして活躍している田口成造(しげひろ)選手が来校され、部活動の指導をしていただきました。その中で、試合に勝つためには、「単純なことをしっかりやる」「基本的なことをしっかりやる」というお話をいただきました。

田口選手は、角館中時代は野球部、高校からバスケットボールを始めて現在に至っています。



秋田ノーザンハピネット 田口成造選手

おめでとうございます

平成25年度 秋田県PTA連合会会長表彰 前PTA会長 山本啓彦さん
 長年にわたり中川小学校、角館中学校のPTA幹事・副会長・会長を歴任した実績、さらに、せんばくPTA連合会設立の功績が認められ、6月1日、秋田県PTA総会の席上で表彰されました。

栄光・荣誉

第34回 協和中学校招待体育大会

野球部

優勝(4連覇)

第34回 協和中学校招待体育大会

男子卓球部

第3位

30日 避難訓練をおこないました

自分の命は、自分で守る

右の表から、東日本大震災では、津波で犠牲になった方々が多いことがわかります。30年前の日本海中部地震も、津波で100人、建物倒壊などで4人の方々が犠牲になっています。

海に近い場所にいる時に地震が発生したら、まずは津波対応が必要なことは言うまでもありませんが、ここ角館では、右の表にある津波以外の災害への対応が必要になってきます。

常に通学路や自宅で、崩れたり、倒れたり、落ちてくるものはないかを確認し、どこにいても「自分の命は、自分で守る」という意識を持ち続けることが最も大切です。

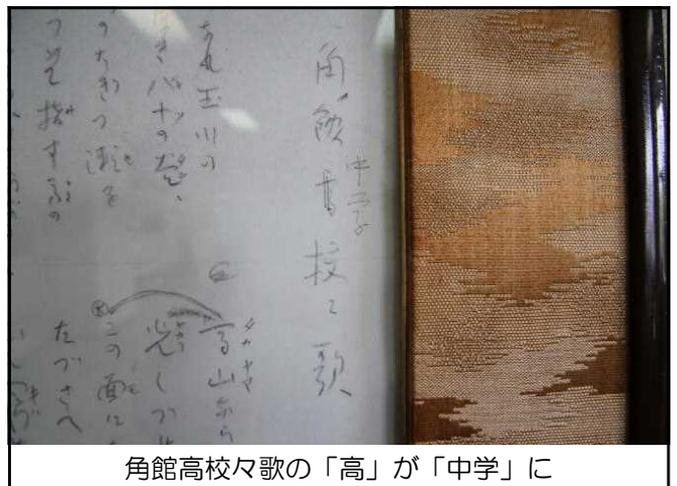
東日本大震災で亡くなった方の原因別表

津波	約 18400人
土砂崩れ・ダム決壊・落石	30人
住宅建物、立体駐車場、橋の倒壊	14人
天井、壁、照明、屋根瓦の落下	11人
照明塔、屋根などから転落	9人
倒れた家具の下敷き	4人
その他避難中に転倒して亡くなった方もいます	

《 角中散歩 ⑥ 【校歌に込められた思い】 》



三好達治氏がたたずむ写真と直筆原稿



角館高校々歌の「高」が「中学」に

本校の校歌（作詞：三好達治氏、作曲：諸井三郎氏）は格調が高く、校長室には作詞者の三好達治氏が、構想を練るために田沢湖高原にたたずむ写真、作詞直筆原稿が大切に保存されています。

直筆原稿は「高」が「中学」に手直しされており、やや難しい歌詞ですが、『小さな川同士が激しく交わり、やがて大きな川となるように、角中生も、燃えたぎる若い青春の心を寄せ合って、ひとつのものを目指して進んでほしい』という三好達治氏の強い思いが込められています。

旧角館中学校沿革誌より

昭和29年10月21日 三好達治氏来町、校歌作詞を依頼

三好氏には「将来自分はどうのような不品行をするかわからない。自分の作ったものが、純粋な少年少女に歌われることを考えると心の重荷になってしょうがない」という思いがあり、完成まで時間がかかったそうです。

昭和31年 3月23日 三好達治氏より校歌作詞が届く

昭和31年 3月29日 諸井三郎氏に校歌作曲を依頼

昭和31年 6月 5日 校歌披露式挙行